

年 組 名前:

# 猛暑で野菜高騰ため息

## 生育不良タマネギは仕入れ9割高



スーパーで野菜を手に取り品定めをする買い物客 一甲斐市篠原

全国的な猛暑の影響で、山梨県内のスーパーなどの店頭で野菜の価格が高騰している。猛暑や水不足で野菜の生育に影響が出て出荷量が減少し、タマネギは7月と比べて約9割、ニンジン約4割高くなるなど、スーパーの野菜コーナーは価格設定に苦心。消費者は「野菜は毎日の生活に欠かせない食材。値上がりは家計に響くと悲鳴を上げる。野菜中心の料理を提供する飲食店主は「メニューの値上げを考えなければならない」と頭を抱えている。

### 県内 小売り、飲食店、家計打撃

甲府市地方卸売市場の卸売価格調査によると、タマネギの8月31日の卸売価格は10キロ当たり3564円で、1カ月前の7月31日(1890円)の1・89倍に高騰。ニンジンも10キロ当たり3564円、約4割高となった。葉物野菜や根菜の値上げが目立つという。ハウレンソウやレタス、ダイコンも3〜1割ほど値上がりしている。

市場で競りなどを行う山梨中央青果(甲府市国母6丁目)によると、7、8月の連日の猛暑や水不足により、山梨県内のほか、北海道や東北で野菜が変色したり病気になるなどして、市場に出回る野菜の量が減少しているという。特に葉物野菜の価格が高騰しているという。ハウレンソウは1束当たりの卸売価格が例年の120円から200円程度に上昇したという。担当者は「葉菜や根菜の値上がりは続くだろう。秋や冬の野菜に影響が出る可能性もある」と懸念を口にした。

アマノパークス種王店では8月1日から31日の1カ月で仕入れ価格が高騰。ハウレンソウやキャベツ、コマツナなどの葉物野菜は3割、豆類は4割、ブロッコリーとキュウリは5割ほど値上がりしたといい、販売価格に転嫁せざるを得ないという。

特に露地栽培の野菜は今回の猛暑の影響が大きく、担当者は「暑さで野菜がこぼれやすくなっている」と厳しい状況を説明した。

来店した南アルプス市の会社員中込公子さん(60)は「弁当に彩りを加えたり、煮物を作ったり。野菜は毎日の生活に欠かせない。今は価格が高くて家計に影響も出ている」とため息をつく。買い物客を安く済ませるため、「高い食材は他の安い食材で代替し、メニューや調理法を工夫している」と話した。

影響は野菜を多く扱う飲食店にも。甲府市のカフェレストラン「フルウト甲府」では、使用する野菜を農家から直接仕入れたら、一度

〈十橋亮 森航平〉

に注文する野菜の量を増やしたりして仕入れ価格の抑制を図っているが、「ニンジンやジャガイモは7月と比べて3〜2割ほど高くなっているという。

平野真吾店長は「野菜の価格が高くなっている。このままでは料理の値上げも視野に入れなければならない」と危機感を募らせた。

問1

(2023年9月6日付 山梨日日新聞 21面)

スーパーなどで、野菜の価格が高騰しています。その原因を教えてください。

.....

問2

竜王のスーパーでは、次の野菜が1カ月で、何割値上がりしましたか。

- ・ハウレンソウ → ..... 割
- ・キュウリ → ..... 割
- ・キャベツ → ..... 割
- ・ブロッコリー → ..... 割
- ・コマツナ → ..... 割
- ・豆 類 → ..... 割

問3

9割高とは、100円の商品がいくらになったのでしょうか。

..... 円